

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を共有し、かみやまだ敬老園の理念をもって取り組んでいる。		
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日朝食後に、全員で理念の唱和をし、1日の活動意欲を高めている。	○	毎日の日課となっているので継続して行きたい。
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	広報紙の配布や、来園の方々に具体的な状況説明を行っている。	○	交流の場を持つ機会を増やしたい。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や買い物に出かけた時など、挨拶に心がけ、話掛ける機会をもっている。		
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議の委員や、広報紙などから情報を頂き、参加させて頂くようにしてきたが、家主に任せてしまう状況もあった。	○	地域の皆様により知って頂ける様に、パンフレットの配布や、色々な会議や活動に職員も参加させて頂く取り組みをしていきたい。

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>6 ○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>独居生活にて、入浴困難が出現された方に、温泉活用を働きかけ、利用して頂いている。また臨機応変に食事対応も行う時もあり。</p>		
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7 ○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全員が自己評価をし、評価内容を把握し、改善の見なおしをしている。</p>		
<p>8 ○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>常に報告書を作成し、全家族や、推進会議の委員、相談員に配布しており、法人のブログサイトにも公表し、意見を検討し取り入れている。</p>		
<p>9 ○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所連絡会議や、高齢福祉課からの会議には必ず出席し情報交換をしている。また、市から派遣される相談員が毎月来園され、状況を伝達している。</p>		
<p>10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修や勉強会に出席し、相談窓口や、制度の説明を行っている。</p>	○	<p>全部の職員が知識を得ていないので、勉強会の開催も必要と考えている。</p>
<p>11 ○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>地域包括センターからの緊急要請に対応し、虐待者の受け入れをしたり、勉強会への参加をしている。</p>		

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	まず、来園して頂き、様子を見て頂いたり、状況確認をした後に、文章と共に口頭にて説明をしている。		
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に、利用者代表の方も出席している。また、親しくなられたボランティアの方や、毎月来園される相談員の方々に話された事を職員は真摯に受け止め、希望に添う様にしている。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来園時に、日頃の状況を伝えたり、日課表や記録を見て頂き確認をして頂いている。また、毎月家族への連絡や、必要時に報告をしている。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とのコミュニケーションの円滑を大切にし、話しを持つ様に心がけて居る。第三者委員の存在も説明し、玄関には、苦情処理箱を設置している。家族会を開催し、意見交換をしている。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月定時の会議や、必要連絡会議の内容を伝達し、時々来園した折に、情報交換をしている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	あらかじめ予定の事項に関しては、職員配置を常に考慮し、予定外の突発的な事については、対応出来るよう調整を図り、支障のない様に勤務者確保をしている。		

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>勤務交代については、出きるだけ交代しない様努力し、交代必要時は、重複勤務をして、状況説明をしている。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19 ○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人の中に教育部が設置されており、研修の提案や取りまとめを実施。勤務調整を図り、希望研修にも参加出来るようにしている。</p>		
<p>20 ○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>提供される高齢者の勉強会や会議、事業施設部会交流会に、管理者と職員も出席している。</p>		
<p>21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>状況把握に努めている。問題等に関しては、相談し、助言している。</p>		
<p>22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>情報を集め、適宜指導助言を受けている。</p>		

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事務所や居室、外出の機会を利用して、他の人が介入できない所で意見や、悩みを聴ける場面を設定している。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相手の都合に合わせて、調整を図り、時間に区切りをつけないようにしている。		
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日頃から福祉関連の情報収集に努め、持っている知識を生かして、緊急か、どんな状況かを探り、サービス提供の活用の相談に関わっている。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	お験しとして、まず来園して頂き（できれば家族や、親しい人も同伴）、様子を見ていただきながら、話し掛けをして慣れるような配慮に心がけている。本人の希望に沿えるような対応をしている。	○	デーサービスを活用し、待機の方も馴染みになれるような機会にできればと考えている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として、尊厳を大切に、自分たちが知らない事を教えて頂く謙虚さを持つようにしている。		

グループホームかみやまだ敬老園

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	一緒に会話し、支援できる場面を協力して頂けるように投げかけをしたり、支援方法を伝えている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	相互の状況判断に努め、生活暦などを参考にし、お互いの立場を考慮しながら支援している。	○	どの職員も関わりを持つ様にしていく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	例えば、ずっと馴染みの髪結いの美容室を利用してきた方は、継続して行かれるように支援している。また、行きたい所の希望に添える様になっている。(住んで居た家、お店など)		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	話題の提供や、一諸に関われる事を考え、共同作業や、自立してされる事の見守りをしている。自己主張の強い方には、関係が崩れないようフォローしている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	いつでも利用して頂けるように、時々連絡を取っている。		

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	押し付けたり、無理をしないことを前提にし、希望に添える様に、職員の連携を取って対応している。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を導入し、できるだけ細かな情報を収集して、記録に残して活用している。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員の引継ぎを必ず行い、日課表を主として、記録の確認を行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントを重要視して、色々把握したことを、定例会議や引継ぎの時に話し合い、改善策も考えてプラン作りをしている。		
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月の定期会議にてプランの確認をし、状況変化の際は、家族、主治医との連絡をとり、必要事項の提供が出るように、対応している。		

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別記録や日課表、日誌に残し、情報を共有し、家族にも見て頂きながら、実践している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通所介護において、時間の延長や、ナイトケアにも対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	始めから関わりのある民生委員の方に後見人になって頂いたり、社会協議議会とボランティアの連携を取り、定期的に警察、消防署員の立ち寄りがある。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	通所介護では、活用している担当者会議に出席し、サービス内容の話し合いをしている。また、千曲市事業者施設部会議において、情報交換をしている。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	虐待の緊急避難事例の受け入れや、介護サービスの紹介を行っている。		

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医は家族に決めて頂き、通院に際しては、日頃の状態を記録にまとめて、持参して頂いている。また緊急時は、職員も付き添う体制にしている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	法人の経営する医療機関や、訪問看護ステーションに相談をしたり、協力病院である千曲荘病院への受診提供をしている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員が配置されており、法人の医療課と連携を常に取り合っている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	主治医や、病院のソーシャルワーカーと連絡を取り、家族も参加しながら、情報を共有し、不安のない対応をしている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	各利用者の健康状況に応じて、その都度家族や、主治医、管理者が確認を取り、文章に残している。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	マニュアルを作成し、それに基付き対応を考え、支援する方向である。また、職員の研修も行い、理解を深めている。		

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	まだ1度も住み替えの方が居ないが、必要事項を見定めて、情報を提供して行きたいと思う。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの尊重を職員全員が意識し、言葉にも注意をしている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人が選択できるような働きかけに心がけ、意志決定を尊重している。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	優先すべき事を吟味し、本人の気持ちを大切にしている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	洋服は、本人に選んで頂き、行き付けの美容室への送迎や、外出したい希望の方の送迎を行っている。		

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嫌いな物は代替し、味付けも一緒に確認しながら行っている。準備や片付けも一応当番を決めているが、伺いしながら無理せず行えるように配慮している。	○	希望を把握し献立に加えて行きたい。
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買い物を希望される方には、送迎し、必要とされる物を購入して頂き、夜間、食べ物を希望される時は、お茶やお菓子、状況により御握り、ホットミルクなどを、居室に持参して対応している。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日々の生活から、個人の状況把握に努め、トイレで気持ち良く排泄できるように、職員が協力（使用が重ならない工夫や、場所の誘導）し、支援している。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	声掛けの時、個人の希望（一番風呂、夕方入浴、寝る前）に添った対応にしている。温泉活用なので、いろいろな対応が可能である。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居室の温度管理や、窓の開閉、夜食の提供、衣類の交換、眠れる雰囲気作りをして、不安の除去に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割を尊重し、自分の仕事として毎日されている事は、取り上げにならない様に周囲の調整をし、満足感や達成感を継続できるように支援している。		

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で財布を管理している方は、そのままにし、買い物にて使用された額を把握し、現金が少なくなった場合は、家族に情報提供している。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、散歩やドライブに誘い、職員の買い物や、ごみ捨てなどに同行している。また、お茶の時間に外のテーブルを使用して、庭の花や、樹木を見て、楽しんで頂ける場を提供している。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	杏の花や、桜の花見、コンサートなどに出かけている。	○	家族への働きかけをし、情報提供をして、対応回数を増やしたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、電話をかけたたり、書かれた手紙や葉書の投函に同行している。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも来園して頂ける事を伝え、居室、リビングなど状況や希望に応じて、ゆっくり過ごしていただける様に配慮している。帰りの時は、一緒に見送りをし、再来を依頼している。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人で研修会や、マニュアルを作成し、委員会での通達を確認している。		

グループホームかみやまだ敬老園

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	実際に鍵をかけない生活をしている。		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	移動時さりげなく、見守りし、時々訪室して、声掛けを行っている。	○	外出時職員同行を嫌がる方には、距離を置いたり、隣家の協力も依頼していく。また、洗濯物を干して居る。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	裁縫道具や、鋏、ナイフなど、使用した後は、職員が保管を必ず見届けている。状況に応じて本人から、預らせて頂き、必要時一緒に関わりを持って居る。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	各個人のレベルに合わせて、プランを立て、常に検討している。ヒヤリ、ハットを記録し、職員全員が、確認して、防止策を考えている。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のシュミレーションを常に考え、慌てないで冷静さ保ち、的確な判断ができるよに、確認を取り合っている。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議のメンバーの協力を得て、一緒に訓練に参加して頂く様になった。また、近隣へも協力依頼をしている。		

グループホームかみやまだ敬老園

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	状況変化を常に報告し、起こりうるリスクについて、相互で防止策を話している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に状態観察をし、変化があった時はすぐに管理者、家族に連絡を取り、主治医との連携も取っている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容を確認し、服薬後の状況変化に注意し、毎回の業務の引継ぎ時にも注意している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個別に排泄状況を把握し、起床時の冷水や冷牛乳の提供、水分補給の促し、毎朝の体操、腹部マッサージの施行をしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	個別に職員が関わりを持ち、対応している。義歯の定期洗浄を継続している。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好みを把握し、嫌いな物は、代替にて対応している。毎回食事量や、水分量を把握し、少ない時は、工夫して対処している。(御握り、お粥、麺類の提供等)		

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成し、それに基付き対応を考え、支援している。また、職員の研修も行い、理解を深めている。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	職員が認識をし、消毒、手洗い、食品管理には、十分な配慮を心がけている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花や野菜作りをし、すぐに話題になるような環境である。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	場所には、解りやすい表示をし、職員は、窓の開閉、室温、湿度管理に注意し、花や、絵画を飾り工夫をしている。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に椅子やソファを設置し、本を置いたり、写真を貼ったりして、寛げる場を提供している。		

グループホームかみやまだ敬老園

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>タンスや、椅子など使用されて居た物を持ちこみ、コタツを希望の方は、こたつの設置をしている。</p>		
<p>84 ○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>各勤務職員が、常に配慮している。窓の開閉、カーテン利用、エアコンの調整など、その都度注意している。</p>		
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>	<p>車椅子、歩行器、介助バーなど、必要に応じて利用している。</p>		
<p>86 ○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>出きる事、出きるが介助が必要な事、出来ない事などを、職員が把握し、困らない工夫をしている。</p>		
<p>87 ○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>椅子やテーブルを置き、花や、植木を楽しんでもらったり、野菜、スイカの苗を育てている。又洗濯物を干している。</p>		



部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

グループホームかみやまだ敬老園

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

民家改修の家屋にて、趣があり、庭には四季を通して植木や花々を観賞出来る環境である。
 温泉活用をし、ゆっくりのんびり毎日を安心して生活して頂ける様、職員一同が心掛けて日々実践している。